

令和元年度

「言語聴覚の日」イベント報告



山梨県

山梨県言語聴覚士会では、「言語聴覚の日」関連イベントとして、いきいき山梨ねんりんピック2019、郷育フォーラム2019の2つのイベントにて、言語聴覚士および誤嚥性肺炎の予防に関する啓発活動を行いました。

第1弾 いきいき山梨ねんりんピック2019

2019年9月28日(土)小瀬スポーツ公園にて開催されました。秋晴れの中、270名(男性106名、女性164名)の方が当士会のブースを訪れ、言語聴覚士の仕事についてアピールすることが出来ました。“誤嚥性肺炎の予防と理解”をテーマに、①誤嚥性肺炎についての説明 ②ピークフローメーターを用いた咳嗽力の測定 ③「呼吸」「発声」「摂食嚥下」に関する自主訓練に関するリーフレットの配布 ④自主訓練用の吹戻しの配布 を行いました。

同じテーマでのイベントも3年目となり、続けて参加して下さっている方の中には、昨年の結果と比べ自主訓練の効果を嬉しそうにお話ししていた方もいらっしゃいました。誤嚥性肺炎に対する関心は高く、咳嗽力の測定では順番待ちの行列もでき、参加された方々は測定結果に一喜一憂し、“来年の為に練習してくる”“誤嚥性肺炎の怖さについて学べ、何に気を付けたらよいのか分かった”など好意的な意見を頂きました。

その反面、言語聴覚士に関しては、地域での認知度の低さも改めて実感しました。

第2弾 郷育フォーラム2019

2019年10月6日(日)甲府市総合市民会館にて開催され、来場者数は2000名でした。当士会では初となる子ども向けの職業体験ブースを出展しました。テーマは「家族の誤嚥性肺炎の予防のために」とし、子ども達は頸部聴診や咳嗽力の測定、とろみ水の試飲を体験しました。また、誤嚥性肺炎の予防として、おでこ体操や巻き笛ブローイング、発声練習などを紹介しました。職業体験では、当初16名の受け入れ予定でしたが、20名の子どもたちが参加し、当日は大忙しでした。

参加した子ども達からは“今度おじいちゃん、おばあちゃんに教えてあげる”という感想をもらいました。

今回のイベントで体験したことを通して、言語聴覚士として子ども達の思いやりを育む機会となり、私たちにとっても有意義な機会となりました。

言語聴覚士の専門性を“もっと広報してほしい”という建設的な意見も頂き、地域貢献の方法についても考える機会となりました。言語聴覚士として生活支援や地域活動への参加の重要性を肌で感じ、今後も言語聴覚士が地域でより身近な職業となるように、PR活動を行ってまいります。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局広報部 高橋 正和

